



思いやる心と私の成長

ファム ティ ゴック ズン
PHAM THI NGOC DUNG

時間が経つのは早く感じます。「光陰矢の如し」と言うようですが、来日して2年近くになろうとしています。

母国を離れ、両親から離れ、全く馴染みのない国で働く事は、不安だらけで、日本の文化・習慣の知識もなく、日本語も分からないので、色々困った事が多かった日々を思い出します。

それでも、私は日本に来て良かったと思っています。なぜなら、私の周りには、いつも私の事を見守ってくれる人達の存在があるからです。

3月に、会社の慰安旅行で京都に行きました。長い歴史のある寺院を多く訪れ、社長さんが訪問場所の由来や伝統を説明してくれました。日本の文化を感じ、嬉しく楽しい時間を、みんなと過ごす事が出来て、本当に良い思い出が出来たと思います。

でもなにより感動したのは、訪問場所やホテルで感じた、日本の方々の接し方です。日本語検定の勉強をしている私にとって、日本語には、はっきりとしない意味の言葉が多いなと思っていました。その中の一つに「思いやり」「おもてなし」という言葉があり、本当の意味がよく理解出来ていない自分がいました。でも、旅行中、全く知らない人が、私達の行動を理解して助けてくれたり、教えてくれたりと驚きの連続でし

た。「ああ、これが思いやり・おもてなしの意味だな」って感じる事が出来ました。相手の立場に立ち、よりそってくれる日本の方々のやさしさを感じた二日間でした。

愛媛に帰って、来日以降の日々を思い返してみると、いつも私の周りには、私の事を守ってくれる人がいました。社長さんであり、奥さんであり、日本の従業員の方々です。私も、みんなの思いやりに助けられて、仕事や生活にも徐々に慣れて、今の自分があるのだと気づきました。誰もが、私の悲しみや嬉しさを、いつも共有してくれ、一生忘れられないの方々です。

今、母国の両親に言うとなれば「私は成長しているよ。何の心配もいらないからね。」と言えます。

相手の立場に立って物事を考えてあげる習慣は、素晴らしいと思います。今まで出会った人々は、私を成長させてくれた宝物です。私も、人として大きな心を持った人に成長したいと思います。そして、帰国してからも、この思いやり精神を忘れず、母国にも広めたいと考えています。

これからも日本語検定の勉強を頑張り、2級以上に合格して、たくさんの人たちと話して、日本の良いところを吸収したいと思っています。

国	籍	ベトナム
職	種	婦人子供服製造
実習実施者		四国寝具株式会社
監理団体		えひめEX協同組合